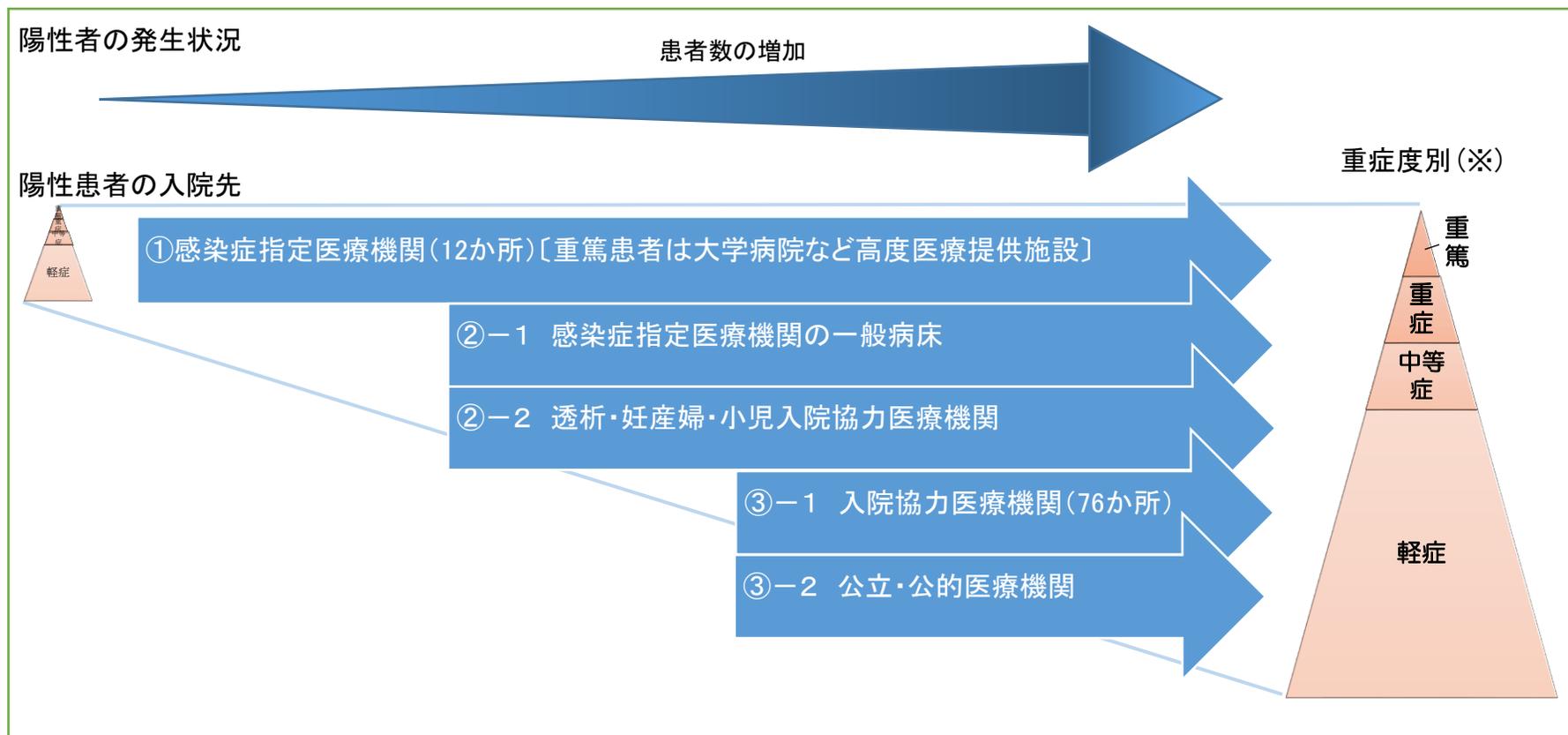


## 新型コロナウイルス感染症患者の増加に伴う医療提供体制

### 優先順位

- ① 陽性者は、感染症指定医療機関の感染症病床に入院。
- ②-1 感染症指定医療機関の感染症病床が満床となる場合、感染症指定医療機関の一般病床に入院。
- ②-2 感染症指定医療機関での受入れが難しい患者(透析、妊産婦、小児)は、入院協力医療機関に入院。
- ③-1 陽性者が増加した場合には、感染症指定医療機関は重症者に重点を置き、中等症から軽症の患者は入院協力医療機関に入院。
- ③-2 陽性者の数を踏まえ、軽症の患者は公立・公的医療機関に入院。



### ※ 重症度別

- 重 篤: ECMO を必要とする患者
- 重 症: 人工呼吸器を必要とする患者
- 中 等 症: 酸素投与等入院治療を必要とする患者
- 軽 症: 在宅療養でも可能な患者

福岡県新型コロナウイルス感染症調整本部

区分	所属	役職	氏名
医療関係団体	福岡県医師会	副会長	上野 道雄
		感染症担当理事	稲光 毅
感染症医療 専門医	九州大学病院	グローバル感染症センター長	下野 信行
	久留米大学病院	副院長	渡邊 浩
	飯塚病院	感染症科部長	的野 多加志
	北九州市立医療センター	総合診療科主任部長	内田 勇二郎
救急医療 専門医	九州大学病院	救命救急センター副センター長	赤星 朋比古
	福岡市民病院	救急科科長	野田 英一郎
行政	福岡県	保健医療介護部医監	白石 博昭